



観光客でにぎわう阿弥陀堂



西山富三郎議員

「大工学」の目指すもの

町全体の再認識・再発見

問 公民館活動では、新たに「大工学」講座を開

設し、郷土の歴史・文化活動・子育てなど多様な学習機会を提供する。

「大工学」は奥ゆかしい表現で、期待している。目指すものイメージは。

答 (山田教育長)

恵みの里構想に「大工学」が位置づけられた。

郷土について学び、郷土を担っていく人材を育成することを提唱している。町の歴史・文化・産業・自然あるいは人を体系的に学ぶ講座の必要性を感じている。

目指すところは総称して、大山町をすべてもう一度学び、知り、魅力を再認識、再発見する。町外の人に紹介したり来町する人々に詳しく紹介できることをイメージしている。

「大山力」と正面から表現

行動の表現として受けとめる

問 大山恵みの里づくりを計画している。

5つの目標と目標達成の施策がある。この実現への取り組みが「大山力」だと思う。

「大山力」と正面から表現してはどうか。

答 (山口町長)

「大山力」と表現する提案は共感する。

5つの目標を設定してその達成に向けた取り組みは、町の総力結集を呼びかけている。

町民・企業・行政等がそれぞれの立場で身近な活動に参画し目標に向かい本気でチャレンジすることを提起している。

町を高め、発展、磨きをかけて行動の表現として受けとめる。

最小の経費で最大の効果

行財政改革に理解を

問 二宮金次郎は4つの

教えを編み出している。



二宮金次郎像 (逢坂保育所)

至誠・勤労・分度・推譲である。分度とは収入に見合った支出・推譲とは幾分たりとも収支残をつくり将来に蓄えることである。

最小の経費で最大の効果を上げることが町の原点である。

町民に説明し、理解と協力を得ることが大切。職員の姿勢をさらに改め当初予算にどう反映しているか。

答 (山口町長)

原点を町民に説明し理解を得よとの指摘は行政運営の基本事項である。

地方自治法第2条第14

項で「地方公共団体は、住民の福祉の増進に努めるとともに最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない」と規定している。

大山町行財政改革大綱においても、将来にわたって持続可能で健全な財政状況を確立し、住民ニーズに沿った行政サービスを安定的に提供できるように一層徹底した行財政改革に取り組む必要があると示している。

職員全員が法の精神や答申を踏まえ、効率的な運営に配慮をし予算編成したと考えている。